

広島市内で分離された A 群溶血性レンサ球菌の T 血清型別 (2013, 2014 年)

生 物 科 学 部

は じ め に

広島市で発生した A 群溶血性レンサ球菌感染症の発生状況を把握するため、当所では、広島市内の医療機関で分離された菌株について検査を実施している。

2013 年及び 2014 年に広島市内の医療機関から提供された A 群溶血性レンサ球菌菌株の血清型検査結果について報告する。

方 法

1 材料

2013 年及び 2014 年に広島市内の医療機関から提供された A 群溶血性レンサ球菌 19 株を用いた。

2 T 血清型別

国立感染症研究所の A 群溶血レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) 検査・診断マニュアルに従い、溶血レンサ球菌抗原処理用試薬「生研」(デンカ生研)を用いて菌体を処理したのち、A 群溶血レンサ球菌 T 型別用免疫血清「生研」(デンカ生研)を用いて T 血清型別試験を実施した。

結 果

1 2013 年疾患別及び T 血清型別検出状況

2013 年の菌株を T 血清型別し、疾患別に表 1 に示した。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎由来 3 株の T 血清型は、T28 型が 1 株、型別不能な株が 2 株であった。劇症型溶血性レンサ球菌由来 2 株の T 血清型は、T1 型、TB3264 型が各 1 株であった。

2 2014 年疾患別及び T 血清型別検出状況

2014 年の菌株を T 血清型別し、疾患別に表 2 に示した。2014 年は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎由来の菌株 13 株及び劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来の菌株 1 株の計 14 株で供試した。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎由来 13 株の T 血清型は、T6 型及び T12 型が各 3 株、T1 型及び TB3264 型が各 2 株ずつ、T3, 13 型、T25 型及び T28 型が各 1 株であった。劇症型溶血性レンサ球菌由来 1 株の T 血清型は T1 型であった。

謝 辞

この調査にご協力いただきました医療機関及び保健センターの関係各位に対し、深謝いたします。

表 1 2013 年疾患別及び T 血清型別検出状況

疾患名	T1 型	TB3264 型	T28 型	T UT*	計
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	2	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			2
計	1	1	1	2	5

* : 型別不能

表 2 2014 年疾患別及び T 血清型別検出状況

疾患名	T1 型	T6 型	T12 型	TB3264 型	T3, 13 型	T25 型	T28 型	計
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	3	2	1	1	1	13
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
計	3	3	3	2	1	1	1	14